

東北農業経済学会Newsletter 2009春

2009年度学会賞候補者の 推薦について（告知）

東北農業経済学会 会長 神田健策

本学会では、東北農業の発展と農業経済学の発展を期することを目的に、東北農業並びに農業経済学に関する顕著な業績に対し、東北農業経済学会賞を授与しています。2009年度の学会賞候補者の推薦を下記により受け付けます。昨年度より一般会員からの推薦も受け付けることになっていきますので、積極的に推薦してください。

1. 学会賞の種類：学術賞、奨励賞、実践賞
2. 候補者の要件：学会ホームページの学会賞表彰規程をご覧ください
3. 提出書類：

推薦書(1部)：学会賞事務局にご連絡いただければ、用紙等をお送りいたします。また、学会ホームページからも入手できます。

関係資料(9部、コピー可)：推薦書で参照される著書や論文等の主要な業績

4. 提出先：学会賞選考委員会事務局(〒020-0198盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター東北地域活性化研究チーム 長谷川啓哉、019-643-3492、E-mail:hasecho@affrc.go.jp)

5. 提出期限：2009年6月30日(火)

2008年度研究助成の採用結果と2009年度の募集について

当学会は、若手研究者の育成を目的として、大学院生及び農業改良普及指導員等を対象に1件当たり5～10万円、総額15万円以内で毎年2件程度の研究助成を実施しています。2008年度は後藤真由美さん(秋田県立大・修士課程院生)と高橋加菜子さん(同)が採用されました。

この度、2009年度の研究助成を募集します。申請希望者は所定の申請書を学会事務局に提出して下さい。申請書の書式は学会HPからダウンロードできます。提出締め切りは、2009年7月15日(水)とします。なお、助成申請の採否は、研究助成選考委員会での選考を経て、次回の大会開催時の理事会で決定します(学会HPで既報)。

学会誌投稿論文の募集

編集委員会では、引き続き多くの会員の皆さんからの論文投稿をお待ちしています。原稿は和文・英文どちらでも結構です。詳細については学会ホームページの「会則・規程」の『東北農業経済研究』投稿規程をご覧ください。投稿先、問い合わせ先は以下の通りです。

東北農業経済学会編集担当常務理事 角田毅
〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23
山形大学農学部農業経営経済学分野気付
Tel&Fax：0235-28-2885
E-mail：sumita@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

2009年度農業経済学 関連学会協議会議の報告

3月29日、日本農業経済学会の会期中に第4回農業経済学関連学会協議会が開催され、神田が出席した。現在13関連学会が協議会に参加しており、今回、協議会の規約を決定し、未参加の関連学会に参加を呼びかけることとした。

議事では、前日本学術会議会員で研究成果の評価についての報告をとりまとめた新山陽子委員から「農業経済学分野における研究成果の評価について」のとりまとめ経過と内容が報告された。これは日本学術会議が2008年8月28日に決定した正式文書であり、今後、日本農業経済学会誌に掲載され、会員に周知し、活用することが確認された。また、新山会員から問題提起があり、現在各学会誌のフルペーパーの投稿掲載数が減少していること、その背景に論文集への投稿に流れていること、大学院生はフルペーパーを書くように指導すべき事、学会誌の審査に時間がかかりすぎていることなど、本協議会で検討すべきではないか、との問題提起があり、種々議論の末、継続して検討することとなった。この問題は、学会活動の活性化のために本学会でも論議が必要と考える。

(文責神田)

学会誌のバックナンバー を販売します

学会誌バックナンバーの購入に関する問い合わせいただきました。常務理事会で検討した結果、1冊1千円(送料別)で販売することにしましたので、ご希望の方は学会事務局までお申し込み下さい。

メール会員の募集について

ニュースレター等、学会からの送付物をメールで配信し、経費と労力の軽減につなげるためにメール会員を募集しています。日本学術会議などから送信される情報もお伝えしています。メール会員の登録を希望される方は送信先アドレスを明記して学会事務局までお申し込み下さい。

学会の動き

2008年度第2回常務理事会

日 時：2009年3月7日（土） 14:00～17:00

場 所：秋田市カレッジプラザ

出席者：神田、青柳、鶴川、伊藤、角田、小山、川島、柳村

1. 青森大会の開催計画について

・会場は弘前大学、日時は8月下旬を予定、3月中に決定する。

・果樹流通に関するテーマを予定している。りんごだけに限らず、サクランボ、モモなどにも対象を広げる
・「地域起こし」に関わるテーマでミニシンポを企画する予定（渋谷先生が中心）。

2. 学会誌の編集・発行について

・新潟大会の報告は2本集まっている。個別報告は9本が投稿、うち3本が審査終了。他もそれほど時間はかからない見通し。投稿論文は1本で、審査も終わっている。

・投稿論文も第1号に入れ、第1号は早めに出してはどうか。もともとは1月号、8月号のように半年毎だった。かつては郵送料節減のために2号まとめて出していたが、現在は郵送料を考慮しなくてもよい。

・論文投稿の促進対策を編集委員会で行うことにした。
・北海道農業経済学会の学会誌名を変更した。学会誌名の名称変更を次の総会の議題にのぼらせ、2010年の大会で決定する予定。

3. 研究助成事業の応募と選考について

・応募者は3名だった。
・角田、横山、小山の3氏に選考委員を依頼した。
・2月はじめに審査報告を受け、採用はいずれも秋田県立大学大学院の修士課程の学生である。
・以下の2名に対し研究助成を行うことを承認した。

後藤真由美：「作付け作物別に見た外部経済評価とそれに対する住民の支払い意志額について」（10万円）

高橋加奈子：「地域資源を活かした就業機会創出の条件に関する研究」（5万円）

・川島理事から採用・不採用の通知を送付
・第2回の募集を5月のニュースレターで行う。

4. 会員管理について

・従来、東北大で入退会の届け出を受け付け、福島大で会員データを管理していたが、情報の伝達が万全ではなく、問題が生じたことがあった。今後、会員デー

タは東北大で一括して管理することにしたい。ニュースレターや会費請求書の発送はこれまで通り福島大で行うので、春のニュースレター、大会前、秋のニュースレターの年3回会員データを確認する。

・退会者の未納分については請求する。
・未納会員の処理については理事会で判断する（従来通り）。

・学生会員は指導教員を合わせて登録する。
・入退会の届け出については直接事務局に提出することを徹底する。

6. ホームページの更新

開催案内は早めにアップする。

7. その他

鶴川副会長が秋田県立大学に東北農研に移動するが、後任者との話し合いによって次の大会までは学会担当副会長を続ける方向で臨むことにした。

学会事務局より

入会・退会の際、また会員情報(住所・所属等)に変更があった場合には、学会事務局までご連絡ください。なるべく書面にてご連絡いただけるよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

東北農業経済学会事務局 (担当)川島

〒981-8555 仙台市青葉区堤通雨宮町1-1

東北大学大学院農学研究科資源環境経済学講座

電話・FAX (022)717-8662

Email: : tohoku-agriecon@bios.tohoku.ac.jp

編集後記

本学会の研究助成事業が始まり、第1回の助成対象者が決まりました。第2回の応募もすでにホームページで告知され、すでに始まっています。是非、奮って応募してください。シンポジウムのテーマは、しばらくコメ政策に関係するものが続きましたが、今年の青森大会では果樹問題を取り上げます。日頃、果樹関係の話題に接していない方もいらっしゃるでしょうが、今年の学会が果樹問題に対する関心を高めるよいきっかけになるのではないかと思います。